

## 公共下水道事業ストックマネジメント計画の策定について

下水道事業の進捗に伴い、施設ストックの蓄積や老朽化が進んできています。老朽化に起因した道路陥没等の事故も増加傾向にあり、早急に対応すべき課題となってきたことから、国土交通省では平成20年度、「下水道長寿命化支援制度」を創設しました。

本市においてもライフサイクルコストの最小化を目的とした「長寿命化計画」を策定し施設の維持管理を推進してきました。

今後は、下水道施設の維持管理計画と改築・修繕計画を中長期的な視点を踏まえた一体的な計画として「下水道ストックマネジメント計画」の策定が求められています。

